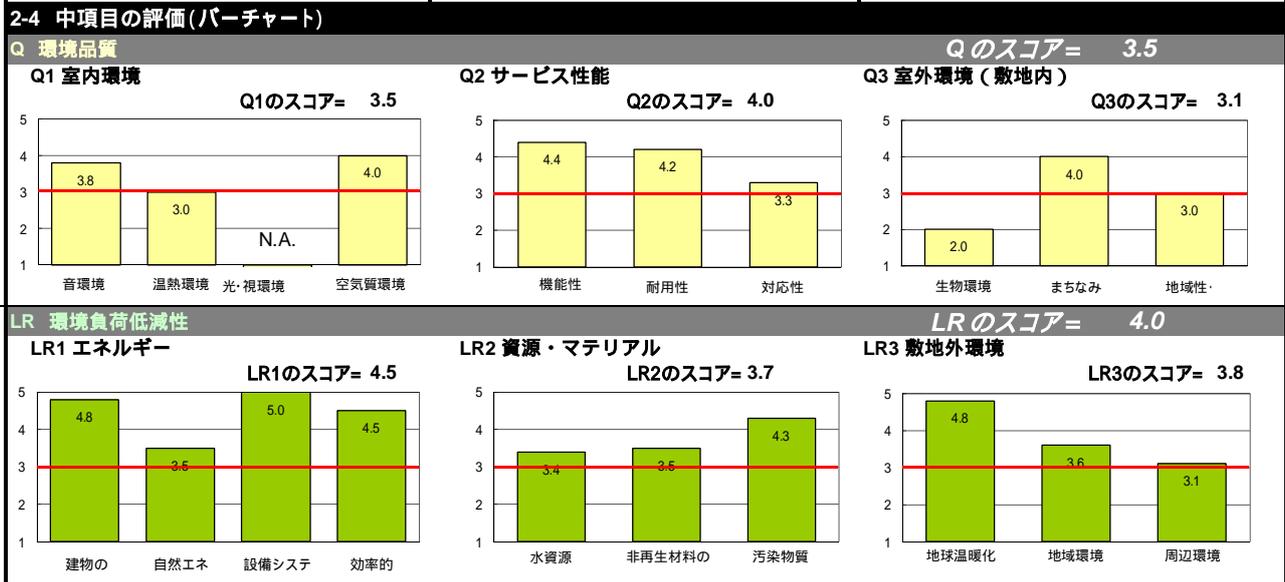
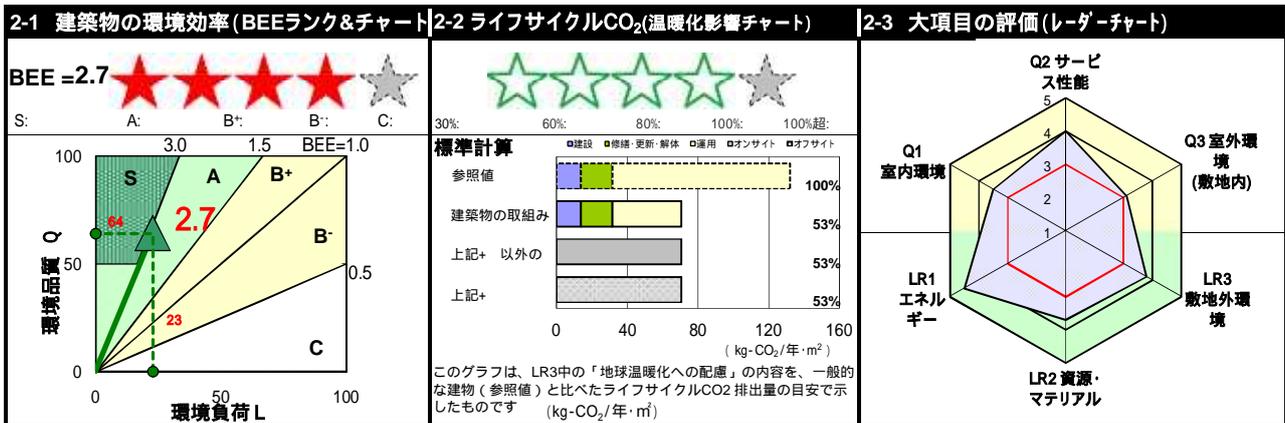


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市民活動健康増進施設	階数	地上3F 地下1F
建設地	海老名市さつき町47-2,51-2の一部	構造	SRC造
用途地域	第一種住居地域 準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	3,800 時間/年
建物用途	集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年6月 予定	評価の実施日	2012年10月31日
敷地面積	4,911 m <sup>2</sup>	作成者	パンフィックコンサルタンツ(株)
建築面積	2,211 m <sup>2</sup>	確認日	2012年10月31日
延床面積	5,009 m <sup>2</sup>	確認者	パンフィックコンサルタンツ(株)



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 公共施設として、誰でもが親しみを持てる使いやすい施設とする。また、建物の耐震性能を高くし、自家発電設備を設置するなど災害時の拠点として機能するよう整備する。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> F の建材を全面的に採用するなど、良好な空気環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 施設の維持管理に配慮し、また、誰もが利用しやすく、ゆとりのある施設として整備する。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 地上部に緑化を計画し、ヒートアイランドの抑制や心理的・景観的な環境性の向上に配慮している。また、既存の歩道と一体となった歩行空間の整備を行なう。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁・屋根の断熱性能を高め、冷暖房の使用エネルギー量の削減を行っている。また、コージェネレーションシステムを導入し、その廃熱を温水プール、温浴施設、空調に利用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 衛生器具は節水型とし、またインテリアに再生木材を採用し、資源の再利用を行なっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物を敷地南側に配置し、敷地の北側を空けることで日照障害を抑制する。また、屋根の反射率を抑え、敷地外環境に配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される